

地域公共交通確保維持改善事業
(地域間幹線系統確保維持費国庫補助金)の事業評価

<協議会名> 岐阜県地域公共交通協議会

<事業年度> 令和3年度

<事業概要> 8事業者、48系統

| | |
|------|--|
| 自己評価 | <p><評価基準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施の適切性 A評価:48系統 ・目標効果達成状況 A評価:1系統、B評価:35系統、C評価:12系統 <p><取組状況></p> <p>○協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の補助対象系統の現状と課題を共有するため、輸送実績を協議会で提供した。 ・市町村や事業者から申出のあった系統について、関係バス事業者、沿線市町村による地域分科会小部会を開催し、今後の運行や支援について協議した。 <p>○県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響への対応として、以下の支援を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・バス運行対策費補助金の概算払、一部要件緩和 ・通学時間帯の続行便への補助 ・広域バス路線維持奨励金、バス・タクシー感染症防止対策事業費補助金、地方鉄道・広域バスの感染防止対策等普及啓発事業費補助金 ・乗合バス事業者が新規採用者の大型二種免許取得に要する教習費用を負担する場合の経費に対して補助を行った。 ・地域公共交通の確保及び充実を図るため、市町村が行う AI オンデマンド交通の導入に向けた取組等に対して、補助した。 |
| 二次評価 | <p>評価できる取組</p> <p>公共交通事業者へのコロナ感染防止対策事業支援金、県補助の概算払など、運行継続に向けた支援策が行われていることを評価します。</p> <p>期待する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸送量や収支率が低く、維持が危ぶまれる地域間幹線系統(特に計画輸送量が15未満となっている系統)については、現状の把握や課題の整理を行うとともに、当該系統の必要性に応じ、利用促進や系統維持に向けた関係事業者や沿線自治体等と連携した取組の実施に期待します。 ・次年度以降は新たに策定する岐阜県地域公共交通計画に基づき、地域間幹線系統の維持に向けた自治体間調整やリニア中央新幹線開業を踏まえ、東濃地域と各地域を結ぶ公共交通の「南北軸」、「東西軸」の強化に向け、主体的な役割を果たされることを期待します。 ・地域公共交通計画においては、県内各地の通学・通院の手段を確保するため地域間幹線系統の位置づけを明確化し、維持活性化のための方策を県として積極的に実施することを期待します。 ・県下の全ての自治体が GTFS 形式によるオープンデータ化に対応できるよう引き続き支援することを期待します。 |

令和3年度自己評価結果(地域間幹線系統)の概要

| 補助対象事業者名 | 対象 系統数 | 事業実施の適切性 | | | | 目標・効果達成状況 | | | |
|------------|-----------|----------|----|----|--------|-----------|----|----|--------|
| 岐阜乗合自動車(株) | 21 系統 | A | 21 | 系統 | 100.0% | A | 0 | 系統 | 0.0% |
| | | B | 0 | 系統 | 0.0% | B | 17 | 系統 | 81.0% |
| | | C | 0 | 系統 | 0.0% | C | 4 | 系統 | 19.0% |
| 東濃鉄道(株) | 7 系統 | A | 7 | 系統 | 100.0% | A | 1 | 系統 | 14.3% |
| | | B | 0 | 系統 | 0.0% | B | 3 | 系統 | 42.9% |
| | | C | 0 | 系統 | 0.0% | C | 3 | 系統 | 42.9% |
| 名阪近鉄バス(株) | 7 系統 | A | 7 | 系統 | 100.0% | A | 0 | 系統 | 0.0% |
| | | B | 0 | 系統 | 0.0% | B | 7 | 系統 | 100.0% |
| | | C | 0 | 系統 | 0.0% | C | 0 | 系統 | 0.0% |
| 濃飛乗合自動車(株) | 4 系統 | A | 4 | 系統 | 100.0% | A | 0 | 系統 | 0.0% |
| | | B | 0 | 系統 | 0.0% | B | 4 | 系統 | 100.0% |
| | | C | 0 | 系統 | 0.0% | C | 0 | 系統 | 0.0% |
| 北恵那交通(株) | 4 系統 | A | 4 | 系統 | 100.0% | A | 0 | 系統 | 0.0% |
| | | B | 0 | 系統 | 0.0% | B | 2 | 系統 | 50.0% |
| | | C | 0 | 系統 | 0.0% | C | 2 | 系統 | 50.0% |
| (株)白鳥交通 | 1 系統 | A | 1 | 系統 | 100.0% | A | 0 | 系統 | 0.0% |
| | | B | 0 | 系統 | 0.0% | B | 0 | 系統 | 0.0% |
| | | C | 0 | 系統 | 0.0% | C | 1 | 系統 | 100.0% |
| (株)日本タクシー | 3 系統 | A | 3 | 系統 | 100.0% | A | 0 | 系統 | 0.0% |
| | | B | 0 | 系統 | 0.0% | B | 1 | 系統 | 33.3% |
| | | C | 0 | 系統 | 0.0% | C | 2 | 系統 | 66.7% |
| 加越能バス(株) | 1 系統 | A | 1 | 系統 | 100.0% | A | 0 | 系統 | 0.0% |
| | | B | 0 | 系統 | 0.0% | B | 1 | 系統 | 100.0% |
| | | C | 0 | 系統 | 0.0% | C | 0 | 系統 | 0.0% |
| 合計 | 48 系統 | A | 48 | 系統 | 100.0% | A | 1 | 系統 | 2.1% |
| | | B | 0 | 系統 | 0.0% | B | 35 | 系統 | 72.9% |
| | | C | 0 | 系統 | 0.0% | C | 12 | 系統 | 25.0% |

<県協議会における評価の考え方>

(評価の目的等) 県協議会では、広域的な公共交通の確保維持を図るため、路線の維持確保対策や利用促進策を検討する際の基準の一つとして評価を活用。

(対象路線) 国庫補助基準を満たす路線 (地域間幹線系統)

※ 1 : 評価基準

県協議会では、「事業評価を通じた地域公共交通確保維持改善事業の効果的実施に向けて (ガイダンス)」 (国土交通省) に準じ、各目標 (指標) について、原則として基準年度 (令和元年度の場合は平成 29 年度が基準年度) より現状維持として数値を設定し、評価基準に基づき評価を実施

※ 2 : 事業実施の適切性

- A 事業計画どおりに運行されたもの
- B 事業者の責に帰すべき事由により、一部事業計画どおりに運行されなかったもの
- C 事業者の責に帰すべき事由により、事業計画どおりに運行されなかったもの

※ 3 : 目標効果達成状況

目標 (指標)

| 目標 (指標) | 目的 |
|---------------|-----------------|
| ① 1 便当たりの輸送人員 | 公共交通利用者数の維持・増加 |
| ② 事業の収支率 | 事業効率の向上 |
| ③ 定期利用率 (※) | 通勤・通学者への移動手段の確保 |

(※) 令和 4 年度より、指標を「定期利用者数」に変更

- A 目標数値を達成できたもの
- B 目標数値を達成できていない点があったもの
- C 目標数値を達成できなかったもの

<令和 3 年度事業の主な流れ>

